



SAIKO

埼玉工業大学 〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690
TEL.048-585-2521(代表)
協賛 埼玉工業大学後援会 埼玉工業大学同窓会



SIT Freak

SAITAMA INSTITUTE OF TECHNOLOGY'S CAMPUS LIFE MAGAZINE

[SIT フリーク]



特集

埼玉工業大学に通う先輩に、ホンネをきいちゃおう！

埼玉大 Girl's Talk

埼玉大 Girls Talk

さいこうだい ガールストーク

どうぞよろしくお願いします！



センパイ！ 埼工大でのリアルな 大学生活を教えて！

巻頭特集の座談会は、人間社会学部の女子学生4人！
普段から仲良しのみなさんに、受験のきっかけから大学生活の中で楽しいこと、
意外だったこと(?)までいろいろ語ってもらいました。
聞いて欲しいことがいっぱい！ ではでは、どうぞー！

今回のGirl's Talkメンバーをご紹介します



石原 夢歩さん

人間社会学部
心理学科 ビジネス心理専攻2年
群馬県 前橋東高等学校 出身



藤井 奏さん

人間社会学部
心理学科 ビジネス心理専攻2年
群馬県 高崎工業高等学校 出身



南澤 風花さん

人間社会学部
情報社会学科 メディア文化専攻2年
長野県 長野東高等学校 出身



黛 杏奈さん

人間社会学部
情報社会学科 メディア文化専攻2年
群馬県 高崎工業高等学校 出身

はじめに、埼玉大を受験したきっかけは？ 入学を決めた理由も教えてください！

黛さん 私は工業高校に通っていたので、指定校推薦で工業大学への進学を希望していました。埼玉大には学びたい学科があって、自宅から通える。高校2年生の時に参加したオープンキャンパスの印象も良かったです。自分の希望に合っているし、ここがベストな選択だなと思いました。

藤井さん ずっと学びたいと思っていた心理学科があって、実家からも比較的近いこと。先生からも勧められたこと。それから…実は私、黛さんと同じ高校の出身で。知り合いがいると安心というのもありました(笑)。

石原さん 私も自宅から通いやすくて、興味があつた心理学が学べるから受験しました。奨学生採用型での合格で、埼玉大が第一志望でした。

南澤さん 私は大学進学を考えた時に、進む方向性でいろいろ悩んでいたんですね。学びたいのは音楽系だけど、大卒という資格(学士の学位)も欲しい。学部はどうしよう? 情報系の分野なら将来性があるかも? と思って調べたら、埼玉大なら情報やIT系を学びつつ、メディア文化という専攻で、音楽の知識を身につけられると分かって。私の両方の希望を叶えられるのが、埼玉大でしたね。

大学へは通いやすい? 周辺環境はどう? 4年間通うから大切なポイントですよ。

黛さん 自宅の最寄駅からはJR高崎線1本で通学できるので、便利だなと思っています。

南澤さん 私も電車で岡部駅まで来て、そこからはスクールバス。周辺環境は…まあ可もなく不可もなく(笑)。

石原さん 一人暮らしなんだよね。

南澤さん そう。自転車か自動車があると買い物が楽で、活動範囲ももっと広がるかな。車で通学する人は、電車の遅延がないからいいね(笑)。

藤井さん そうね(笑)。私も一人暮らしで車を利用しています。キャンパス内に**学生専用の駐車場が何か所かあって、無料で利用できるのは本当に助かる。**

石原さん 学生も無料なのは珍しいんじゃない? 私も車で通学しているけれど、交通機関の時刻表を気にせず、自分都合で行動できるのがいいですね。

藤井さん 暮らしやすさで考えると、基本的に割と何でもないと住んでから気づきました。生活する中で、欲しいものを手に入れる苦勞ってあまりない。家賃もすごく高いわけじゃないし。

黛さん 私は自宅からだからその辺は分からないけれど…授業の空きコマ(次の授業が無い空き時間)で遊ぶのは、ちょっと厳しいよね(笑)。

藤井さん キャンパス周辺に手頃なカフェがないから。でも、遠出するほどの時間的余裕はないし。

石原さん たしかに(笑)。



受験校選びのときに、就職率はチェックしました。
親にも「大学がゴールじゃないよ」と言われて。
学ぶ分野もだけど就職率も大事。(黛さん)

- 藤井さん** そんな時は学内のカフェ・ロータスで過ごすかな。他にも割とくつろげる場所があるよね。
- 黛さん** 授業後に遊びに行くならどこ？ 深谷駅周辺？
- 南澤さん** そうだね。ご飯食べようとか、カラオケで遊ぼうとか。
- 藤井さん** キャンパスがある深谷市内で済ませられるよね。
- 南澤さん** 大都市へのアクセスもJR高崎線に乗れば大宮、湘南新宿ラインを利用すれば新宿に行くのもラク。



< みんなの学びの相棒的アイテム >

◀ 石原さんが愛用しているトートバッグ
テーマパークに行ったときに一目惚れして購入。
普段の通学で持ち運ぶのはパソコンと紙の資料くらい。
とにかく軽くてたくさん入るものが欲しくて！

南澤さんのペンケース▼

高校時代から使っている勉強の相棒。
開けるとどこに何が入っているかが
すぐに分かる。がま口が便利。
好きなアーティスト (Mrs. GREEN APPLE) の
ピンバッチもお気に入り。

◀ 授業もプライベートも。
藤井さんのiPad
絵を描くために持っているiPad。
自分の手で書くのが好きなので
授業もメモ書きもタッチペン
を使用しています。



◀ センスも、SNSの使い方も！
黛さんの「ラルム」
可愛い女の子のファッション誌。
ターゲットの心理を理解していて
全体の構成や SNS の使い方など
読むたびに勉強になります。



専攻以外にいろんな分野が学べて
満足度も高いから、迷いつつ入学してもいい。
学びながら自分の未来を探すのもありじゃないかな。(南澤さん)

石原さん 直通でそのまま行けるからいいよね。

黛さん うんうん。

南澤さん 1日しっかり遊べる時間が取れる時も、都心には電車1本で
出られるから、交通面はスムーズだと思いますね。

埼玉大生になって2年目ですが… 大学生活は楽しめていますか？

黛さん 1年目はオンラインで授業を受けている人[※]も多くて、学内に
あまり人がいなかった(泣)。だから2年生で対面の授業に
替わって、同じメディア文化専攻の子や友達と話したり…。

藤井さん 黛さんは入学したての頃「今日も誰とも話せなかったよ～」っ
て、嘆いてたよね。

黛さん そうなの。あの時があるから、今も会えるだけでも嬉しいし、
嬉しい(笑)。

藤井さん 私は学生生活^{しょうおうちせい}といえば、秋桜祭実行委員会かな。1年生の時
から大学の学園祭の実行委員をしているんですが、そこで
できた先輩たちとの繋がりですね。**上下関係はあるけれど、
高校生の時より垣根がない感じで、それも含めて楽しんで
るって印象です。**一人暮らしで体調を崩した時に面倒を見て
もらったり。お世話になりっぱなしって話もあるけれど(笑)。

黛さん 私は大学で友達が欲しかったから、サークルや部活という
コミュニティに入ろうと決めていた。で、藤井さんに「秋桜祭
実行委員が気になる」って話して。

藤井さん ちょうどビジネス心理専攻の女子の間で話題になっていた時
だったの。「就職にも有利らしいよ」とか(笑)。

石原さん 噂だね(笑)。そういう宣伝があったから。

※コロナ禍によるハイフレックス制。対面やオンライン授業が選択できた。

藤井さん 「じゃあ、みんなで入る？」って委員会に入って、交友関係が
広がっていった。南澤さんは時期的に、黛さんとまだ繋がって
いなかったんだよね？

南澤さん うん。私は長野県出身で、知り合いがいなくて。工学部に
男の子が一人いるくらい。

藤井さん みんな最初はそんな感じだよな。

黛さん ね。

南澤さん 黛さんも話していたけれど、オンライン授業が多かったから、
友達づくりも情報もなかなか難しかった。今もどこにも
所属していないから、大学に入って自由に使える自分時間が
すごく増えたな～と感じる。休日にライブに行ったりね。
そうそう、黛さんと何かのタイミングで話した時に、趣味が
一緒だって分かって。

黛さん 音楽系の授業の時ね。好きなアーティストが同じで、それ
きっかけで今はライブも一緒に行ってる。

南澤さん 大学に共通の趣味の子がいると思わなかったから、偶然出会え
て友達になって。好きなことを自由に話せるのは楽しいな。

石原さん 私は専攻している心理学の授業が楽しいというか面白くて。
講義もそうだけど、実際に自分で手を動かす心理演習とか。
高校時代からずっと興味があった世界だし、心理に関する
ことを専門的に学んでいけるから、難しいけど学び甲斐が
あります。え、真面目？(笑)。

入学して驚いたことは？ 遠慮なくどうぞ！

南澤さん 情報と音楽が学べるから情報社会学科のメディア文化専攻
を選んだけれど、学部共通科目(授業が自分で選択できる)
には、心理学や経済学、経営学、そのほかにもいろんな分野
の授業がある。「あ、何でも取れるんだ」「思った以上に、
多方面のことが学べるんだ」みたいな驚きがありました。

全 員 あったねー(笑)。

藤井さん 私は自分の専攻以外で興味があったのは、情報系の授業
かな。歴史が好きだったから日本史も。**専攻している心理学
ばかりじゃなくて、自分がちょっと興味があったり、気にな
っていた分野が学べる**のはいいよね。

黛さん 私もいろんなことに興味があるから情報社会学科に決めた
けれど「こんなに選べるの？」ってびっくりした。あと、確かに
音楽が好きでこの専攻を選んだものの、いざ入ってみたら…。

南澤さん 音楽の授業、がつつりあるよね(笑)。

黛さん 音楽理論から始まって、曲を作ったりまでする。こんなに音楽
だったんだ、ここまで音楽だったんだって。

全 員 (笑)。

南澤さん 逆に「なんでこの科目があるんだろう？学ばなきゃダメ？」っ
ていうものもあるね。

石原さん 苦手だったり、あまり心が動かない科目ね。その時は、他の
科目を選択できるから。

黛さん 同じ学科・専攻なのに、履修している科目が全く違う子もいる。
当然、キャンパスでたまにしか顔を合わせなかったり。だから
こそ学生一人ひとりが好きなことを、思い思いに学んでいるっ
て感じますね。



秋桜祭実行委員会に入って、先輩との繋がりができた。
縦横のつながりもできるし、
サークルや委員会に入るのはおすすめ。(藤井さん)

工業大学の文系ってどういうこと？ 理系とのミックス？ どこが違うの？

黛さん 情報社会学科は文系に属しているけれど、**情報について学ぶ
ことを考えると理系っぽい面があるよね。プログラミングの
授業もあるし、たくさんある研究室もどちらかといえば理系、
工業寄りだと思う。**

南澤さん テキスト処理やパソコンをがつつり使った授業もあるね。
3年生になったらシステムやネットワーク管理も学ぶようになる。

藤井さん 情報社会学科はそうだね。私や石原さんが学んでいるのは、
統計学がメインのビジネス心理。心理学といっても医療系
ではなくて、数字から心理を見て答えを出していくところがある。
だからパソコンでエクセルの計算もするし…そういえば、
1年生の時には情報系の授業があったね。

石原さん 情報処理の授業ね。確かにビジネス心理は、数字を扱う学問
だよな。私は工業大学で文系の心理学を学ぶことに、疑問
というか、深く考えたことはなかったかな。自然に受け入れ
ちゃった。

藤井さん そう考えると違和感はないのかな。文系のこともできる工業
大学って、世の中的にはちょっと珍しくて面白いのかも！

大学教授の印象や距離感って、どんな感じ？ 埼玉大では「教授」を「先生」って呼びますよね。

藤井さん **優しい先生ばかりだなって思う。**学びたいと思う学生に、
専門知識をちゃんと教えてくれますね。

黛さん みんなはけっこう、先生に質問しに行くほう？

南澤さん …行ったことないなあ。どう？

石原さん 授業中に聞いたことはある。

藤井さん 分からなかった所をメールで質問したりはする。オンライン
授業があった時は、チャットを利用したり。学生が気軽に
聞けるようなシステムになっていると思う。

もう少し続きます➡

黛 さん 授業中、教室内を歩きながら話しかけてくれる先生もいる。名前を積極的に呼んでくれたり、「学生たち」ではなく「個」で見えてくれるのは嬉しいよね。

藤井さん 自分の専攻以外の先生も、かなりフレンドリー。高校の時よりもフレンドリーかもしれない。

黛 さん 数百人って大講義室で行う授業もあれば、小さい教室で少人数って時もある。後者だと先生との距離も近いし、自然と話すよね。話せる空気があるし。

石原さん 私が埼玉大の先生と初めて話したのは、高校3年生の時のサマースクールで。「大学の先生ってどんな感じだろう？」ってドキドキしたけれど、話し方も優しいし、学生との距離感っていうか、雰囲気がいいなと思って。実際に入学して授業を受けていても「教授！」って威圧感がないから質問もしやすい。個別に対応している先生に「ここが分からなくて」と話しかけると、かみ砕いて説明してくれる。学びやすくて、すごくいいなと思っています。

南澤さん 厳しすぎる先生がいないよね。話を聞いてくれる親しみやすい先生がたくさんいる。授業後に先生と1対1で、ずっと話している学生もいる。

黛 さん あるある(笑)。よく見かける光景かも。

「あの勉強をしておけば…」と思う科目は？

藤井さん 「高校生の時に、数学をもう少し頑張ったらよかったんじゃない？」と思います。どの分野においても必要になるはずだから。

黛 さん そうだね。私も数学かな。高校のプログラミングの授業は、数学っぽいところもあって、早い段階で心が折れちゃった。もうちょっとやれば、自分自身の進路の幅が広がったのかなって思います。

南澤さん 私は英語。どこまで行っても必修でついてくるでしょう？

藤井さん 分かる(笑)。

南澤さん 受験の時は他の教科でカバーしたの。でも苦手意識があるままだから、今も「定期試験どうしよう～」とか焦る。

石原さん 私も英語。大学で必修の授業を受けていて「これ高校でもやったな…」と思いつくことが結構多い。それも難しいレベルのことではなくて、文法や単語。高校生までの段階で基礎をきちんと固めておけば、今の学びにより弾みがついたのかもって感じますね。



秋桜祭やサマースクールに、ぜひ参加して！
先生や学生の雰囲気が分かるし、きっと
「この大学、楽しい！」って思うはずだから。(石原さん)

この冊子を読んでいる高校生に 埼玉大生を代表して、メッセージをどうぞ！

石原さん 秋桜祭(学園祭)に、来てください！毎年、1年がかりで準備して頑張っているの、ぜひ来て欲しいです！！

藤井さん 大学の雰囲気も分かるし、有名な芸能人のステージがあったり。花火も打ち上がって、かなり盛り上がります。

黛 さん 深谷市のお祭りと同日開催で、いつも…のべ2万人くらい来場しています。

藤井さん 街のお祭りの流れで、子供からお年寄りまで大学に遊びに来てくれて、ね。その交流も楽しいです。お待ちしております！

南澤さん 私は、大学受験を考えている人にメッセージを。埼玉大は専攻科目以外に、本当にいろいろな分野が学べます。私自身、以前から「これ、やってみたかったな」と思っていた科目も選択できました。実は第一志望ではない大学だったけれど、今、自分の好奇心が満たせているって強く思います。満足感って言えばいいのかな。

黛 さん そうだね。一緒に過ごす友達がいる、好きな学びがあって。埼玉大を選んで良かったって思っています。

いかがでしたか？
埼玉大を、少しでも知ってもらえたらうれしいです。
みなさん、今回はありがとうございました！



◆ Stylish point

手元を華やかに見せる袖のデザインと素材感が気に入って購入したトップスに、コートのインナーとしても使えるベストを重ねて。いただきものの個性的な靴を、コーディネートにスパイスに。

◆ Favorite item

みんなでライブDVDの鑑賞会をする時は、ライブグッズ持参！キーホルダーの「めめ」は、友達とカフェに行った際にスイーツなどと撮る推しグッズ。



きれいめコーデに
凝った靴がお洒落。

石原 夢歩 さん

南澤 風花 さん



母から届いた
カーデが
今日の主役。

◆ Stylish point

ボタンが印象的なカーディガンを主役に。私の好きなブランドを覚えていた母が、贈ってくれたもの。ショート丈で小柄な私でもバランスよく着こなせるし、肌寒さが残る春も心暖かです。

◆ Favorite item

初めて買ったデパコスのリップ。推しの愛用カラーで、お店で試してみたら自分にも似合っていたので。まだメイクに不慣れなので、これを機に勉強中。



◆ Stylish point

カーキ色のカーゴパンツにモノトーンの重ね着を合わせて。クール系の装いが多いので、アクセサリーもシルバーでまとめています。髪色を含め、いましかできないスタイルをめいっぱい楽しんでいます。

◆ Favorite item

最近購入したプレイステーション5。いままでは対戦型や友人とクエストを進めるゲームなど「誰かと一緒」がほんどでしたが、RPGのソロプレイにもハマっています。



ファッションも
髪型も「いま」を
楽しみたい。



藤井 奏 さん

黛 杏奈 さん



可愛い服や
リボンで
私らしく。

◆ Stylish point

ピンク×ホワイトが春らしいシアー素材のトップスをセレクト。好きなモデルのフリマで見つけたもので、着こなしの正解が無いのが楽しい。ショートパンツとスニーカーでカジュアル感をプラスするのが今の気分です。

◆ Favorite item

「レ・メルヴェイユーズ ラデュレ」のチークとリップ。日本撤退前に都内で購入しました。可愛くて見ているだけで気分が上がる、私の大切なコスメです。



好きなことを
仲間と
思いっきりしよう



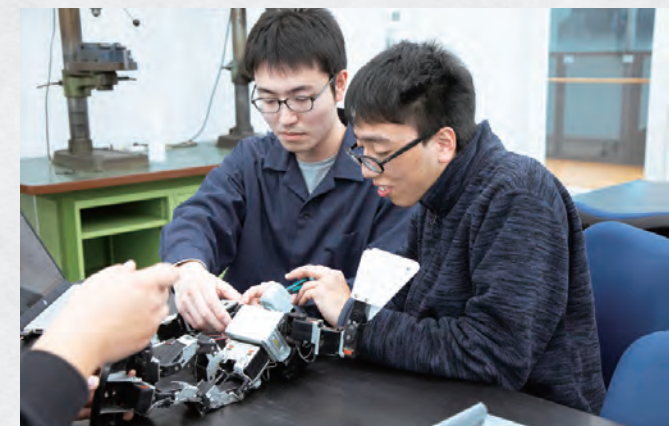
[がんばる！学生プロジェクト]

ロボット 研究プロジェクト

最強のロボットを
仲間とつくり出す。
ロボット好き、あつまれ！



[がんばる！学生プロジェクト]とは
2008年度よりスタートした学生が自らの力で行う取り組み、それが埼玉大の「がんばる！学生プロジェクト」です。
学生時代の思い出作りや
興味がある分野の研究など、テーマは何でもOK！
5名以上でグループを結成し、自主的に企画・運営を行います。
プロジェクトに選ばれると、活動費として20万円*の資金援助が受けられます。
あなたも仲間と、プロジェクトにアツクってませんか？！
※大型プロジェクトの場合、支援額を検討。



前大会での課題をクリアして
上位入賞という目標を達成！
難しいからこそ、燃えるんだ！

「ロボット研究プロジェクト」では、高度なロボットの製作・改造、プログラミングを、メンバー同士で意見を出し合いながら行っています。それぞれのスキルを底上げするために講習会を行ったり、外部の方を講師に招いたり、交流会などにも積極的に参加しています。新しい情報や強くなるヒントを自分たちだけで見つけることは難しい。けれど外部の方々と交流することで、授業でも学べない知識を身につけることができ、技術力の向上にもつながっています。昨年は「あつぎロボットフィールド年間シリーズ戦 ROBO-ONE Lightクラス」で、我々が「SONIA」が4位入賞と健闘。やはり練習試合などの機会を多く設け、操縦者の技量を高めたことが勝因だったと考えています。というわけで、ただいま仲間を絶賛募集中！
学部や専攻関係なし！ ロボットが好きで興味があって、自主性がある人なら初心者でも大歓迎！（過去には、大学に入るまでパソコンにほぼ触ったことがないメンバーもいました！）ぜひ一緒に、より強くカッコいい埼玉大のロボットで、世の中を沸かせましょう！



大会中の「SONIA」の勇姿



「SONIA」と賞状。よく戦ってくれた！



学部や専攻は
問いません！
「面白そう！」と思ったら
初心者でも大丈夫！
新メンバーの加入を
待ってまーす！！

ロボット研究プロジェクト

高度なロボットを製作・改良を行うことで、ロボットの構造を理解。活動全体を通じてメンバーそれぞれの自主性を育てます。
競技大会での入賞や広報活動によって、埼玉大の知名度もアップ！

■ 活動期間 2017年～
■ 活動人数 27名 [2023年3月現在]



研究室へようこそ

工学部 生命環境化学科

環境計測化学研究室

松浦 宏昭 教授

小さな実験と大きな驚きから「化学好き」が始まった。

色が変わったり煙が出ることに「なぜ？」と純粋に驚き、先生に理由を尋ねると、そこには確かな答えがあったんです。昔から座学は苦手、勉強自体も得意じゃなかったけれど、高校の理科の授業で見た化学の現象に、本当にワクワクしたんですね。その「なぜ？」の答えが知りたくて教科書を読むようになって(笑)。いよいよ大学進学を考えた時、心の中に浮かんだのは



松浦先生の環境計測化学研究室

研究の成果を、社会に出していく。

大学の実験室での研究は、とにかく面白かった。「もっといろんな実験がしたい」という思いで、大学院にも進みました。この時は、今の専門分野である電池の研究をしたいとは思わなかったし、電気化学というカテゴリーは同じでも違う研究をしていましたね。現在の研究を始めたのは、民間企業に6年半勤めた後、埼玉大で教員になることが決まってからです。このとき自分に課したのが「結果を社会に出す研究をすること。自分が開発した技術が世の中で役立って欲しいし、その様子を実感したいんです。研究成果の還元という

社会貢献は、私自身のモチベーションにも繋がっています。

「できます。なりたいと思えば、努力すれば、絶対なれます。」

これは、私が最も信頼し尊敬する方の言葉です。あなたが心から望むなら、全力で行動しましょう。そして、真の指導者を見つけてみましょう。私は埼玉大の先生であると同時に、埼玉大を卒業した先輩として後輩を指導したいし、ともに研究を重ねていきたい。学生からいいアイデアが出たら当然聞くし、いいと思えばそれに乗ります。そこには上下関係まったくなし。同じ目線で意見を出し、議論することを大切にしています。

松浦先生が大切にしているもの
卒業生から贈られた寄せ書き。研究室に飾っています。



真のオンリーワンを目指そう。

研究は、常に「オンリーワン」が求められます。大切な学生たちを守るためにも、埼玉大は社会から認められ、世間を振り向かせる大学として成長し続けなければなりません。その責任を感じるからこそ、私は「真のオンリーワン」を目指し、日々奮闘しながら学生の指導や研究を進めています。将来を担う学生のみならず、ぜひ私と一緒に、世界を「あっ！」と驚かせるような研究成果を出してみませんか？そして、社会に貢献しませんか？まずは1年生の授業でお会いしましょう！

「松浦先生！おめでとうございます！」

日本ポーログラフ学会*
「志方メダル」を受賞！

「えっ、私を受賞？」と正直驚きました。賞の重み、責任をひしひしと感じますが、今後の研究の大きな励みにもなります。

松浦先生をもっと身近に感じる
9のQuestion

- Q1 子供のころの夢は？
バスの運転手
- Q2 好きな食べ物？
麺類、とんかつ
- Q3 最近読んだ本は？
永守重信著「大学で何を学ぶか」
- Q4 モットーは？
行動力。すぐに動く。
- Q5 リラックス方法は？
自宅でゴロゴロ。
- Q6 キャンパスで好きな場所は？
ものづくり研究センター。研究の実証機が設置されている所。
- Q7 松浦研究室って、どんな研究室？
自由によって結果を出す。
- Q8 どんな学生に来てほしい？
自分が自由に研究するための自主性がある人。
- Q9 やりたいことを自分で見出しながら進められる人。
- Q10 現在の夢は？
当たり前のことを当たり前にする社会になるのが理想。自分のためというより、社会全体の夢ですね。

環境計測化学研究室
松浦 宏昭 教授

2000年3月、本学工学部環境工学科卒。
「ニーズに応える新素材」、「液体が流れる蓄電池」、「クリーンな水素エネルギー」、「環境をはかる化学センサ」といったキーワードをもとに研究教育活動を行い、成果の一部は製品化に向けた企業との共同研究に至っている。

先生の研究室を動画で紹介



レモンが甘い?! 楽しい味覚実験動画



埼玉大

NEWS

さいこうだいニュース



エッセイコンテスト
「働くってなんだろう」で、
入選・佳作を受賞しました

公益財団法人勤労青少年躍進会、一般社団法人日本勤労青少年団体協議会が主催する「若者を考えるつどい2022 働くってなんだろう」エッセイコンテストで、人間社会学部 情報社会学科3年の学生が、それぞれ入選・佳作を受賞。テーマは「仕事へのチャレンジ、気づき、提言」(35歳以下の部)で、国内外から1,300編を超える応募のなかから選ばれました。

一般社団法人日本勤労青少年団体協議会 <http://www.nikkinkyo.org/tsudoi/2022/ichiran.html>

入選 “「働く」ことへの彩” [エッセイ抜粋]

3歳の時から、自分は卓球で生きていくと教えられてきた。やりたいこともなかったのに、何となく卓球を「やらされてきた」。中学、高校と強豪校に入り、選手として活躍する人生を歩んでいくと、思い込んできた人生だった。中学生の時の健康診断。それは突然の出来事だった。胸の音を聞いてもらったとき「多少の雑音がある」と言われた。病院にいき、精密検査を受けた。何となく嫌な予感を感じていたが、「心臓の疾患が見つかりました。これからは運動をしないでください。」といわれ、その日突然、練習ができなくなった。何となくやっていたと言え、学校から帰ればすぐに道場に潜り、練習をしていた日々だったので、やる気がなくなり、運動をしなくなったので、すぐに太った。でも、つらい練習をしなくて済むと思うと、何となく気が楽だった。ただ、診断を受け、「卓球ができません」と医者から言われたときの……

全文はこちら▶



佳作 “あたりまえ” [エッセイ抜粋]

私は働くことが人生を送る上で当たり前だと思っている。どんなに大変であっても愚痴一つこぼさないのがカッコいい大人。愚痴をこぼし、何事にも弱音を吐く人はダサい大人と思っていた。そして毎日汗水流し、働き次の日に備えてぐっすり寝る。これが私のあたりまえであった。私の家では小さいころから父が働きに出て、母が家事をこなすということが当たり前である。私はそんな母が嫌いではなかった。今となっては共働きの家が多い、そんな中でうちは貧乏で決してお金持ちでもない方ではなかった。そんな状況なのに働きに出ないでお金がないといっている母。家事が終われば家でゆっくりしてる母をなかなか好きになれなかった。もちろん朝早くから起きて食事の用意、掃除、洗濯をやってもらえるのはありがたいことだ。だが、体調が悪いと昼過ぎまで寝ているときもある。そんな時は父が……

全文はこちら▶



この度は素晴らしい賞をいただき、すごく嬉しいです。ゼミで行っている深谷商店街連合会でのイベントから学んだことも含めて、本当にいい経験ができました。「働くとは」というテーマで、自分の素直な思いを綴ったエッセイで賞を取れたことで、とても自信がついたので、胸を張っていいと思います。

人間社会学部 情報社会学科 経営システム専攻3年
大塚 優希さん



このような賞を取ることができてとても光栄です。私が所属するゼミでは、深谷商店街連合会と協力した町おこしやお祭りに参加しています。そのなかで人とのつながりの大切さに気づき、将来は困っている人を助ける仕事に就きたいと考えるようになりました。何かをすることで考え方も変わります。ぜひ、みなさんも何かに挑戦し、新しい可能性を見つけてください。

人間社会学部 情報社会学科 経営システム専攻3年
渡邊 彪雅さん



ふたりが所属する「本吉研究室」は地域のリアルな経営を学ぶ研究室です。詳しくはこちら



information

埼玉大からのお知らせ

高校生へのイベント情報

■ オープンキャンパス2023

来校型のオープンキャンパスを開催いたします！

楽しみながら埼玉工業大学を知れるプログラムが盛りだくさんです。

主な内容

- ★ 大学紹介
 - ★ 個別相談会
 - ★ 入試相談会
 - ★ キャンパスツアー
 - ★ 体験授業
 - ★ ランチ無料体験
 - ★ 研究室探訪
- ※各回で内容が変わりますので
大学ホームページをご確認ください。

6/11
【日】

7/16
【日】

8/6
【日】

8/27
【日】

9/9
【土】

■ サマースクール 2023

「サマースクール」とは、大学の施設・機材を利用して、
実際に実験や実習を体験してもらう模擬授業のことです。

学科の特徴や専門的な内容を知る手がかりになります。

大学への疑問や不安をこのサマースクールで解決してください。

6/18
【日】

7/9
【日】

7/23
【日】

8/10
【木】

8/19
【土】

9/23
【土・祝】

埼玉工業大学後援会 会長 小澤 理恵子

保護者の面から学生を応援し、大学を盛り上げ、
楽しい会になるよう、大学の行事・イベント等、
積極的に参加しています。
ぜひ後援会役員に加わっていただき、
私達と学生や大学を盛り上げていきましょう！

- 一 後援会総会
- 二 後援会役員会（年三回）
- 三 保護者懇談会
- 四 宗教研修会への参加
- 五 秋桜祭（学園祭）模擬店出店
- 六 ふかやシテイハーフマラソンのサポート

年間を通して、

募集し、後援会を運営しています。

毎年、役員としてお手伝いいただける方を広く

埼玉工業大学後援会は、
在学生の保護者（保証人）によって組織されています。
大学と保護者との連絡を密にし、
大学の教育目的達成に協力・援助し、併せて
会員相互の親睦を図ることを目的としています。

埼玉工業大学後援会

裏方で学生の生活を
支えている
強い味方です

後援会
よりご挨拶

新入生向けイベント紹介

■ 新入生フレッシュマンキャンプ

4月、新入生には、群馬県吾妻郡草津町にて実施する
1泊2日の『新入生フレッシュマンキャンプ』に参加しても
らっています。この行事は、新入生が大学生活を送って
いく上での不安を解消すること、また多くの友達を作って
もらうことを目的に毎年開催しています。

本学園理事長による講話や学科別ミーティング、学生
生活や履修登録の相談などの個別相談を行っています。
また、グループでの謎解きゲームなどのレクリエーション
もあり、グループのメンバー同士で話し合い、協力し合い
ながら難問を解いていくなど、友達をつくるきっかけに
もなっています。これからの学生生活を円滑で楽しい
ものになるよう先輩、教職員が相談に応じます。

スタートが肝心といえます！この機会に多くの友達、先輩、
そして教職員とも仲良くなってください。



もっと埼玉大を知ってほしい！ ぜひアクセスしてね♪



大学案内



受験ガイド



キャンパスマップ



YouTube



編集後記



SIT FreakVol.5. いかがでしたか？

埼玉大のことや、楽しさをもっと知ってもらえるよう、

これから頑張りますので、どうぞよろしくお願いします！

ちなみにこの冊子は、こんなスタッフたちで作成しています。

自己紹介の代わりに、高校生の時の夢を少しご紹介しちゃいます。

夢があってもなくても、叶ってもそうではなくても、

みんな今を楽しんでいるのは間違いないさそうです。

STAFF

プログラマー

埼玉工業大学

入試課 菅原 さん

プログラマーですね。
機械いじりや電気製品が好きでそんな仕事を
したいなと中学生の頃から思っていました。
私が高校生の頃、パソコンと呼ばれるものはほと
んどなくて、パソコンを作りたい、そのパソ
コンを自分でプログラミングしたいなど未知の
分野への夢と希望を抱いていましたね。それが
できた大学時代は本当に毎日楽しかったです。



建築士

埼玉工業大学

入試課 阿部 さん

建築士です。
図書館で建築家の方々の作品集を見たり、
街ブラしていろいろな建物を見たりするのが
好きでした。今も古い怪しげな建物に惹かれますね。
その後、映像制作にも興味を持ちたりして…。
高校生の時はいろんなコトに好奇心のアンテナが
立っていましたね。創造することが好きなので、
このSIT Freakもワクワクしながら創っています。



教師

ディレクター

室岡 さん

元々、教師になりたいと思っていました。
進学を考えてオープンキャンパスに行った際、
教育心理学のゼミに大学生と一緒に混ざってくれた
のですが、その議論がものすごく面白くて…。
帰りの電車で「一刻も早く大学生になりたい」と
本気で考えていました。
自分の興味を仲間と振り下げるって、
本当に楽しいですよ。



イラストレーター

デザイナー

ヤマシロ さん

イラストレーターです！
昔から絵を描くのが好きで、高校生の時は、
友人と描いたイラストを見せあったり
同人誌を作ったりしていました。笑
その後、デザイン専門学校を卒業し、デザイナーに。
たまにお仕事でちょっとしたイラストも描いたり
するので、少したく夢は叶った…！？好きなことは
どんどん周りに話してみようと思います！



無かったんです…

ライター

ナカジマ さん

夢のない話で申し訳ないのですが、物心ついた
ころから何も夢見ていなかったんです…。
大学へは将来の選択肢を広げるために進学し、
学部学科は学びたいと思った分野を選びました。
ではなぜ現在の職業に？
それは採用担当者の勘違いからで、
「そう評価されたなら」と、この世界に飛び込み
ました。人生の分岐点は意外なところに。



国連職員

カメラマン

尾崎 さん

表向きは国連職員でした。
それは「外」に出る口実だったんです。
地方の小さな街で生まれ育った私は
この街を出て、海外生活に憧れる高校生でした。
人生は不思議です。高校生の自分には、
将来カメラマンになるなんて想像も
できませんでした。夢なんてなくてもいいんです。
自分の心の中の「好き」を大切に。



会社員

編集・校正

安田 さん

よくいるごく普通の会社員になるだろうなー
となんとなく思っていました。笑
商学部を卒業して新卒で金融業界に就職した
ものの、刺激が足りない…と早々に感じて
思い切って転職し、全く異なる現在の仕事に。
一度経験してみてもコレじゃない！と気づいても、
そこから恐れずチャレンジすれば、いくらかでも
別の道は見つかると思いますよー！



COVER MODEL /

今回のスタイリングは、
すべて薫さんの私物。
春をテーマに
セレクトして
いただきました。

人間社会学部
情報社会学科2年
薫 音羽 さん



この冊子を
一緒につくってくれる
在学生を募集中！

取材に興味がある！写真が得意です！
私も編集に携わってみたい！
そんな埼玉大生は、私たちと一緒に、
SIT Freakを作ってみませんか？
希望される方は、
入試課の菅原・阿部までお気軽にどうぞ！
メールアドレス ▶ nyushi-7@sit.ac.jp